

商業地区の人数を比べると沿道型の事業所は大きいのか

結果

ロードサイド型（幹線道路沿いの商業地区）は1事業所当たり11.56人で、駅周辺型の8.23人の1.40倍だった。全国の商業集積地区を種類別にまとめた平均であり、個々の店の大きさや立地の効果を表す値ではない。

平均の求め方

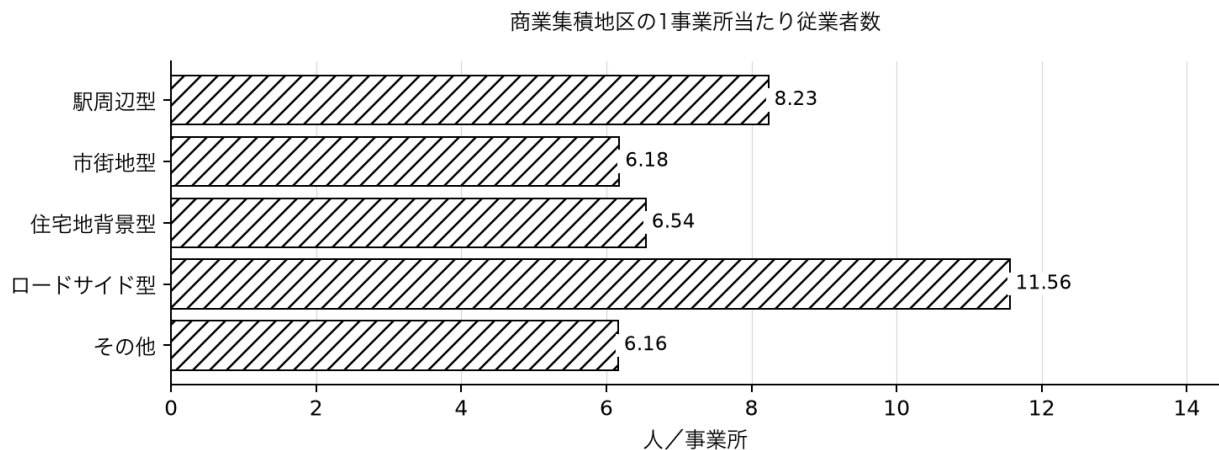
商業集積地区全体の平均は7.59人。5区分の平均を同じ重みで平均すると7.73人となる。「その他」を除いた4区分の合計では7.63人。どの計算でもロードサイド型の平均は全体より高い。

比較できない項目

売場面積の列は法人の小売業だけを対象とする。人数と事業所数には飲食店や生活関連サービスも含まれるため、面積当たり人数や売上をこの表から計算しない。人数の多さを利益率、作業効率、出店効果と同じに扱わない。

追加する社内データ

自社店舗の比較には店舗ID、住所から分類した立地区分、業態、開店日、営業時間、床面積、従業員数と勤務時間が必要になる。同じ業態と営業期間の店舗を比べる。出店の採算を調べる場合は家賃、賃料以外の固定費、商品原価、売上も加える。



商業地区の人数を比べると沿道型の事業所は大きいのかの集計結果

総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査 立地環境特性編」第2表を加工。2026年9月7日取得。